

職場環境の安全性と機能性を飛躍的に高める

滑らないグレーチング くつ底キャッチャー[®] 



株式会社伊藤

会社概要

【社 名】 株式会社伊藤

【設 立】 1989年6月

【資本金】 1,800万円

【従業員数】 31人

〈本社〉 山口県光市浅江

〈福岡事業所〉 福岡県糟屋郡志免町

【理念】

◎企業活動を通じて人を育む

◎ものづくりを通じて社会の
課題を解決する



事業内容



①ステンレス、アルミのフレーム、
架台の製作



②受配電設備向け銅
（ブスバー）の加工



③金属製滑り止め
「くつ底キャッチャー」の
開発・製造・販売

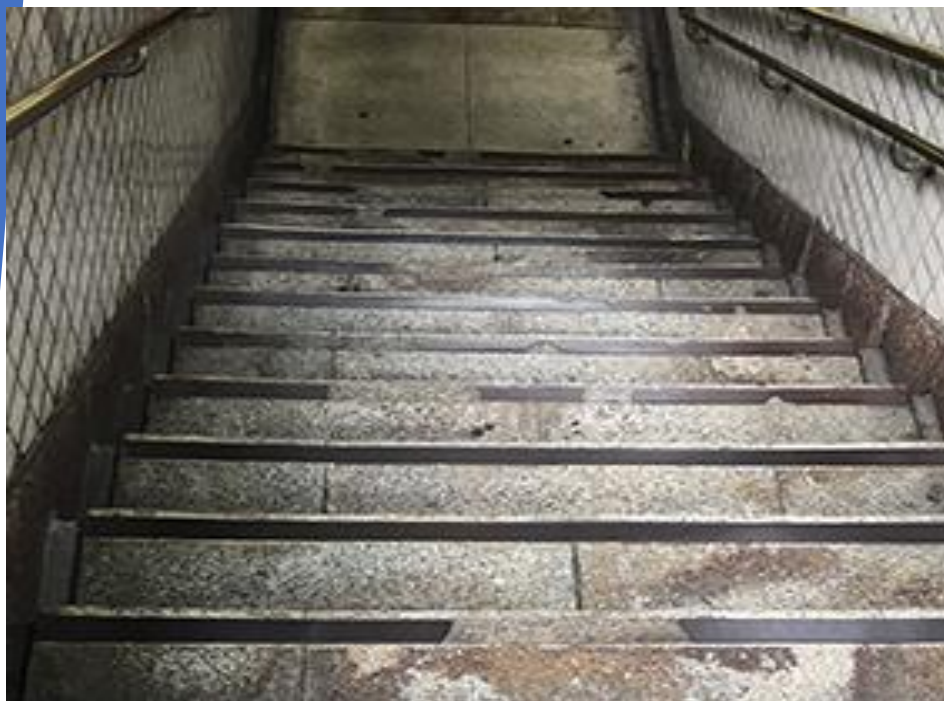
当社製品

究極の滑り止め板

くつ底キャッチャー[®]



技術の 新規性・ 優位性



従来の滑り止め (テープ・ゴム・塗装)

- ・油・水・粉に効かない
- ・劣化が早く、防滑効果が低下
- ・テープ…3～4ヶ月で張替
- ・ゴム …油、紫外線で劣化



金属製滑り止め (くつ底キャッチャー)

- ・油・水・粉に効果が発揮(耐油性有)
- ・劣化せず、防滑効果持続(耐候性有)
- ・5年以上張替なし(当社実績)

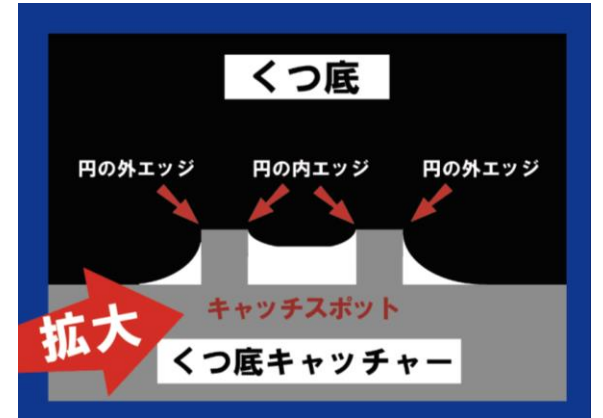
効果、寿命、共に優位性有

どのようにして
防滑効果が
得られるのか？

ステンレス鋼板に「**円筒状の突起**」
(**キャッチスポット**)を配列する事で
防滑効果を得る。

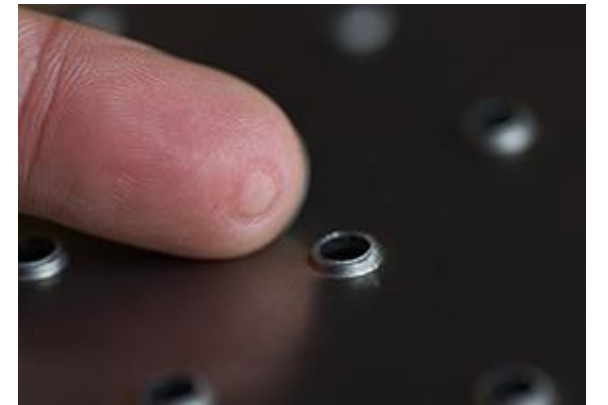


踏み棧に乗り、体重がかかった時に
靴底がキャッチスポット内径に
おさまることで、グリップ力を発揮。



取付後の
安全性は？

体重がかかった時に効果を発揮する為、
鋭い形状にする必要なく、効果を得る。
・裂傷発生リスクが無い。
・引っ掛かりによる転倒リスクが無い。



採用実績



くつ底キャッチャー[®]

潜水艦10隻に導入

滑り止め（テープ）の発祥は
第二次世界大戦下の
米海軍の潜水艦

80年間続いてきた
滑り止めの形態を変えた

導入事例① 海上自衛隊

これまでも艦内のはしごに滑り止めテープにて対策していましたが、すぐに摩耗していました。

くつ底キャッチャーは耐久性に優れ、自分たちでも設置できるため、乗員たちのストレスも軽減され、口コミであつという間に他艦にも広がりました。

また、見学に来られる一般の方の様々な形状の靴もしっかりキャッチしてくれるので、より安心して乗艦していただけます。

海上自衛隊 潜水艦しょうりゅう

前任伍長 齋藤 秀一さん





油が付着している環境は、想像以上に滑りやすく、既存の対策（テープ、塗装等）では、効果がありませんでした。

くつ底キャッチャー・ハイトタイプだと油が付着する環境下でも、抜群の滑り止め効果を発揮します！

以前に比べてオペレーターたちの安心感が格段に増しました。

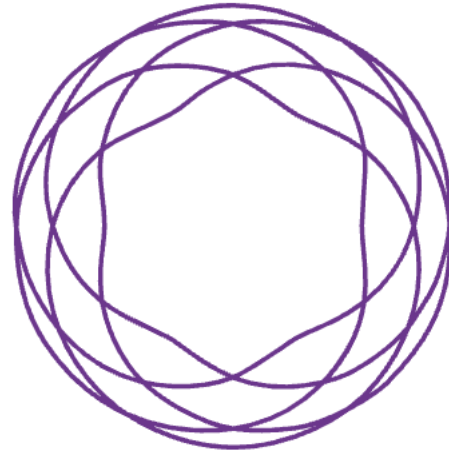
設置したい場所がたくさんあるので、更に導入を進めています。

JFEスチール(株) 西宮ステンレス工場

安全衛生専任者 藤井 一さん

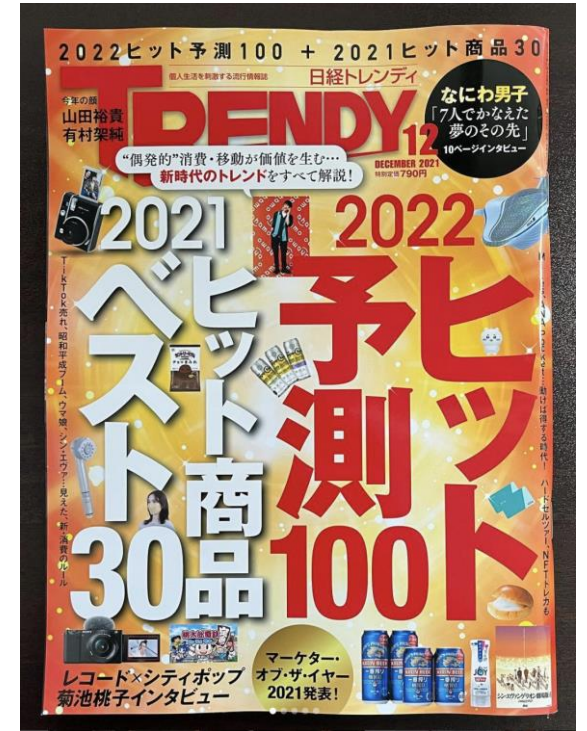


ステンレス
協会賞
優秀賞



地域未来牽引企業

経産省の地
域未来牽引
企業に選定



「日経トレンドイ」
2022
ヒット予測商品

グレーチング とは？



グレーチングとは？

速やかな排水を促すために、
水だけが流れ、人や物の落下
を防ぐようにした溝ぶた

グレーチングの設置場所

- ・道路脇や車道と歩道の境目
- ・化学工場や食品工場
- ・飲食店の厨房 など

グレーチングの課題

濡れると大変滑りやすく、人や
自転車などが通る際に転倒
しやすい

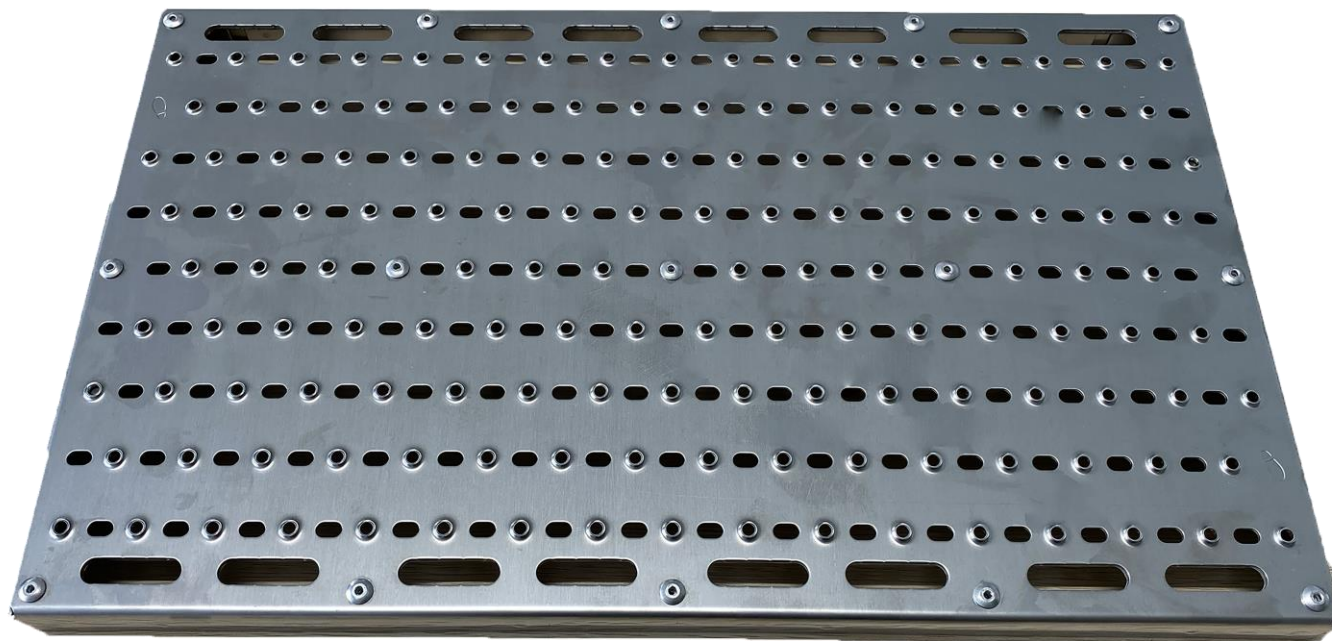
滑らないグレーチング

新製品

くつ底キャッチャー[®]

G

実用新案取得



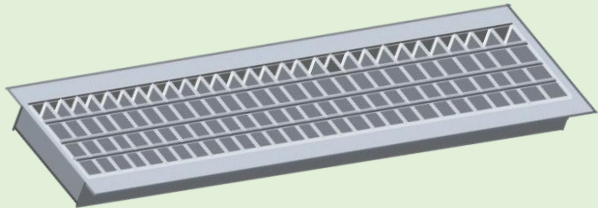
新製品の 仕様

滑らないグレーチング
くつ底キャッチャー[®]



- 【サイズ】 幅 150mm／200mm／250mm／300mm
長さ 497mm
- 【重量】 3.8kg（幅300mm）
- 【対荷重】 8kN（山口県産業技術センターにて試験済）
- 【設置場所】 食品工場／化学工場／飲食店厨房
などの水を使用する作業現場
※道路など車両が通る場所以外で使用

新製品の 特長

	通常のステンレス製の グレーチング 	くつ底キャッチャー®  
安全性	 濡れると滑りやすく危険	 水や油でも滑らない
重さ	 300mm × 1000mmで10kg以上	 300mm × 500mmで3.8kg
清掃しやすさ	 重いため持ち上げにくい	 半分の長さでかつ軽量で 持ち上げやすい
強度・耐久性	 とても頑丈	 人が歩くには十分な強度

新製品

滑らないグレーチング

くつ底キャッチャー[®]

G



安全で働きやすい環境づくりを足元から